



WWW.GIANT-BICYCLES.COM

# GIANT PROPEL & LIV/GIANT ENVIE

OWNER'S MANUAL



## Table of Contents

---

1	はじめに	178
2	このマニュアルについて	178
3	安全上のご注意	178
4	カーボンコンポジットバイクの手入れについて	179
5	OVERDRIVE 2 ヘッドセットの手引き	180
6	カーボンコンポジットフロントフォーク	181
7	GIANT SPEED CONTROL ブレーキ	182
8	インテグレートッドシートポスト(ISP)とサドルクランプ	183
9	サドルオフセットの調整	186
10	ベクターシートポストとシートクランプ (非ISPモデル)	187
11	POWERCORE プラスフットボトムブラケット	190
12	CONTACT SLR エアロハンドルバーの手引き	192
13	ディレーラーケーブル取り回しの手引き	194
14	リアブレーキケーブルの取り直し	195
15	ケーブルルーティング用パーツ	196
16	テクニカルデータ	197
	16.1 Propel Advanced SL	197
	16.2 Envie Advanced	198

## 1 はじめに



この度はジャイアントの高性能ロードバイク、PropelおよびEnvieシリーズをお買い求め頂き、ありがとうございます。お客様の安全を確保し、新しい自転車を心ゆくまでお楽しみ頂くために、このマニュアルを乗車前に、必ずお読みください。

修理や技術的なサポートが必要であれば、ジャイアント正規販売店がお手伝い致します。販売店の検索や、ジャイアントの製品の詳細は、[giant.co.jp/](http://giant.co.jp/)にアクセスして下さい。

## 2 このマニュアルについて

このマニュアルは、お客様がPropelまたはEnvieシリーズのバイクの技術や専用コンポーネントについて、より理解を深めるための参照となることを意図して作られています。ご質問がございましたら、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

またこのマニュアルは、お客様の自転車に付属するオーナーズ・マニュアルや、パーツメーカーのテクニカル・マニュアルの代わりにはなりません。

## 3 安全上のご注意



**警告:** このマニュアルにある警告と指示を読み、完全に理解してから自転車にお乗り下さい。一台で全ての使用用途を満たす自転車、というものはありません。お客様の自転車の使用用途と状況については、ジャイアント正規販売店にご相談下さい。



**注意:** ジャイアントの製品は自転車整備士が、適切な工具を利用して取り付けるべきものです。緩すぎる、またはきつすぎるボルトの締め付けは故障の原因になります。ジャイアントは不適切に取り付けられた製品に対して、一切の責任を負いません。



**警告:** 自転車の組み立ては複雑な作業であり、技術と経験を必要とします。修理や技術的なサポートが必要な際は、ジャイアント正規販売店に依頼して下さい。この警告に従わなかった場合、自転車に不具合が生じ、深刻なケガや死亡につながる可能性があります。

## 4 カーボンコンポジットバイクの手入れについて

PropelとEnvieシリーズのバイクは、世界チャンピオンのレーサーが使用する、プロ級のフレームテクノロジーを備えています。これらのフレームは最先端の素材、エンジニアリング、製造方式を用い、職人によるハンドメイドにより生み出されています。

コンポジットパーツは金属パーツと構造が異なり、そのためコンポジットパーツは手入れの方法も異なります。

### 1. コンポジットパーツに尖った先端をぶついたり、過度の圧力を与えたりしないで下さい

鋭いエッジによる衝撃や、コンポジットパーツ、フレームのクランプは、応力の集中を引き起こし、カーボンファイバーコンポジット材に損傷を与えます。パーツまたはコンポーネントがカーボン対応であることを確認してから、カーボンファイバーパーツを取り付けたり、既存のカーボンファイバーパーツにコンポーネントを取り付けたりしてください。

カーボンフレームを握りしめたときに「たわみ」を感じるのは普通であり、それはフレームの強度の反映ではありません。ただし、カーボンフレームの両端が繰り返し圧縮されると、損傷につながる恐れがあるため、フレームを過度に握りしめないで下さい。また、車載時にはサイクルキャリアなどの機械装置でカーボンフレームをクランプしないで下さい。

### 2. ゴミや汚れを取り除いてから、カーボンコンポジットパーツを取り付けて下さい

金属パーツの接触面の一部には、クランプ表面にグリスを塗布して腐食を防止します。調整時には、常にボルトのネジ山にグリスを塗布してください。グリスを使うと腐食が減り、工具に損傷を与えず、適切に締めることができます。

ただし、ほとんどのカーボンパーツにはグリスを使用しません。クランプされるカーボンパーツにグリスを塗布すると、推奨されたトルク値で締め付けたとしても、パーツが滑る恐れがあります。またカーボンパーツはゴミや汚れが取り除かれた、乾いた状態で取り付けてください。特殊なカーボンパーツの取り付けについてご質問があれば、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

### 3. フォーク、フレーム、コンポーネントを改造しないで下さい

PropelおよびEnvieシリーズのフレームセットのパーツは、安全な走行のための強度および機能要件を満たすよう、精密に設計されています。いかなる方法においても、これらのパーツを改造することは自転車を危険な状態にします。ISP のカットなど、このマニュアルの例にある複雑な工程は、ジャイアント正規販売店に依頼して下さい。

ロードバイクのフレームには、サスペンションフォークを使用しないで下さい。フレームにストレスが加わり、損傷につながります。また、フォークの形状および長さを変更しないで下さい。フォークとフレームの互換性についてご質問があれば、ジャイアント正規販売店にお問い合わせ下さい。フレーム、フォーク、コンポーネントを改造すると、自転車が弊社の仕様と一致なくなり、自転車の保証が無効となります。

## 5 OVERDRIVE 2 ヘッドセットの手引き

PropelおよびEnvieシリーズのバイクはヘッドチューブにOverDrive 2を採用し、重量を増加させることなく、前例の無い優れたハンドリングを実現しています。OverDrive 2のヘッドセットは、上側1 1/4インチ、下側1 1/2インチのベアリングを備え、従来品よりねじれ剛性をおよそ30%増加させています。

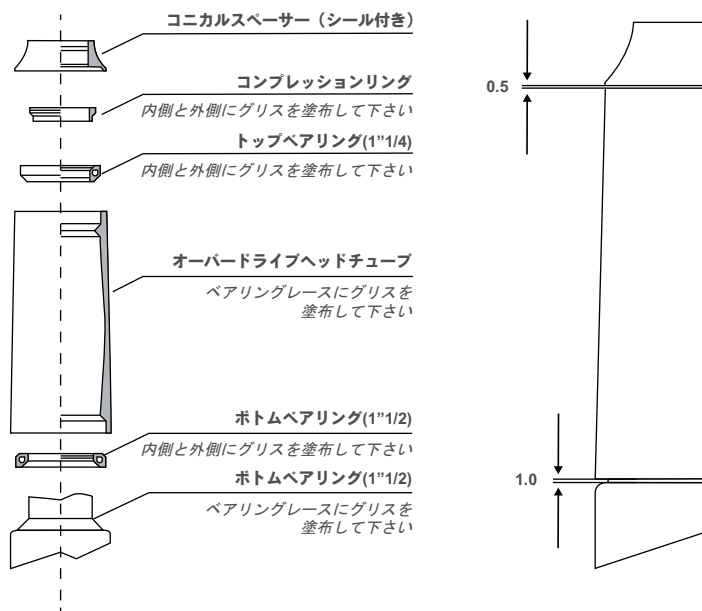
ヘッドセットを組み立てたら、下記の空間にクリアランスを設けて下さい:

- フォーククラウン～ヘッドチューブ底面の間（下側）
- ヘッドチューブ上面～コニカルスパーサーの間（上側）

これにより、ステアリングコラムが抵抗なくスムーズに回転します。

上記のクリアランスに最小値はありません。以下は推奨値です。

- 下側クリアランス：1.0mm
- 上側クリアランス：0.5mm



OverDrive 2テクノロジーの詳細については、ジャイアントのWebサイトにアクセスして下さい ([giant.co.jp](http://giant.co.jp))。

## 6 カーボンコンポジットフロントフォーク

### ステアリングコラム

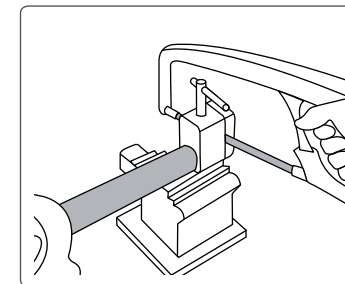
PropelおよびEnvieのフロントフォークのステアリングコラムはカーボンファイバー素材で製造され、軽量化と剛性の最適化を実現しています。

ステアリングコラムの長さをお好みに合わせて加工する場合は、ジャイアント正規販売店にお問い合わせ下さい。もしお客様が資格を持ったバイクメカニックであれば、次の指示に従って下さい。



注意:

1. ステアリングコラムを切断する際は、常に目の細かい刃（32山）を持つ高品質のノコギリを使用して下さい。
2. 平らで安定した台の上にフロントフォークを置き、切断を助けるプロ用のソーガイドを使用して下さい。
3. 8Nm以上のトルクでステアリングコラムをクランプしないで下さい。過度のクランプはステアリングコラムに損傷を与える恐れがあります。
4. ステアリングコラムの切断には専用の工具（ソーガイド、ハンドソー）の使用をお勧めします。  
 <工具例>  
 PARK TOOL Oversized Adjustable Saw GuideSG-7  
 PARK TOOL Hack Saw SAW-1

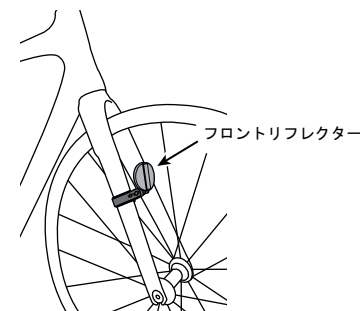


### フォーク構造

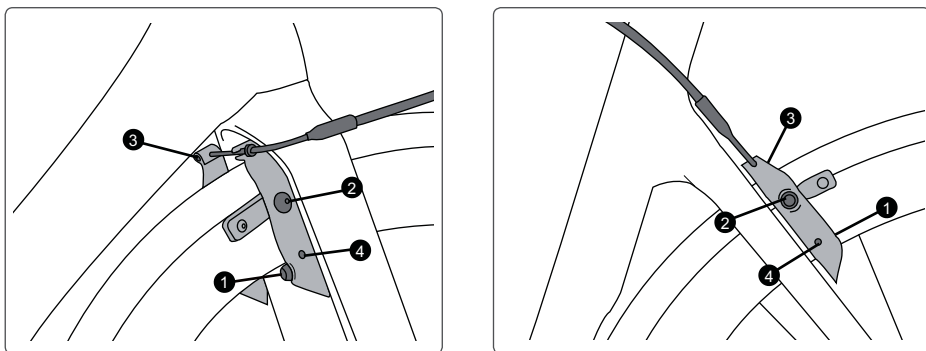
フォークエンドの前輪脱落防止デバイスを削り取るなどの加工はしないで下さい。また、ドリルでいかなる穴も開けないで下さい。



警告: PropelおよびEnvieフロントフォークは、最適な性能を引き出すように設計されています。ドリルで穴を開けたり、ヤスリをかけたりするなど、フォークを加工しないで下さい。加工はフォークの構造に悪影響を与えるだけでなく、損傷した場合、深刻なケガや死亡につながる可能性があります。



## 7 GIANT SPEED CONTROL ブレーキ



PropelおよびEnvieシリーズのバイクには、Giant SpeedControl ブレーキが採用されています。このブレーキは高いエアロダイナミクス性能と、十分な制動力を発揮するよう設計されています。

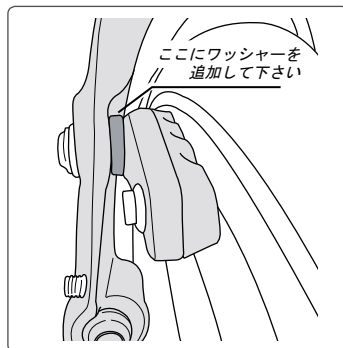
**警告:** 緩すぎる、またはきつすぎるボルトの締め付けは不具合を引き起こします。ボルトの締め付けの際には、最大トルク値を超過しないでください。コンポーネント、フォーク、フレームを傷つけ、その結果自転車のコントロールを失い、深刻なケガや死亡につながる恐れがあります。

	ボルト名称	推奨トルク			
		サイズ	Nm	LBs-In	Kgf-cm
1	ピボットボルト	M6	6-8	53-70	61-81
2	ブレーキパッド固定ボルト	M5	6-8	53-70	61-81
3	ケーブル固定ボルト	M5	3-7	26-62	30-71
4	スプリングテンションアジャスター				

ブレーキパッド取り付けワッシャーは2種類あります。組み付けに必要なワッシャーの数は、下記の図を参照して下さい。

	ワッシャー	内径 (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)
1	薄いワッシャー	8.5	13	2.3
2	厚いワッシャー	8.5	13	3.3

リム幅	ワッシャーの数
19 - 23mm	1 または 1+2
24 - 28mm	0 または 1



## 8 インテグレートッドシートポスト(ISP)とサドルクランプ

**警告:** 下記の指示に従わなかった場合、保証が無効になるだけでなく、ISPに目に見えない損傷が発生する恐れがあります。ISPを損傷すると、構造上の強度が失われ、深刻なケガや死亡につながる恐れがあります。

最高のパフォーマンスと快適なライディングを体験するためには、お客様の自転車のサドルが、適切な高さに調整されていることが不可欠です。適切なサドル高を得るために、ISPを特定の長さに切断する場合があります。ISPの切断は複雑な作業であり、技術と経験を必要とします。この高度な作業を施す際には、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

### ISP切断の手引き

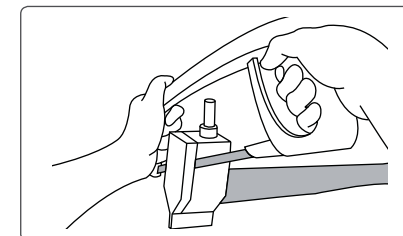
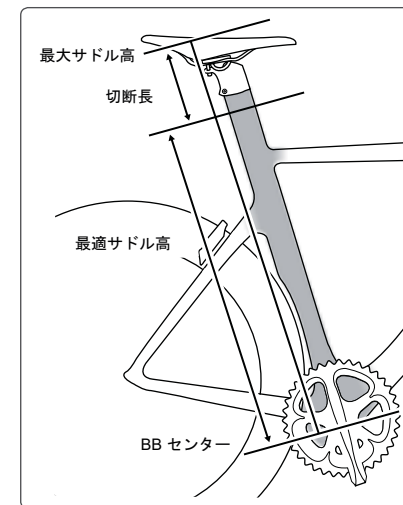
#### ステップ1: 切断長の決定

付属のサドルクランプを利用し、サドルを取り付けます。サドルを地面と水平にして、切断する長さを測定します。

**注意:** 同梱のISPスペーサーを使用することで、ISP切断後であっても、サドル高を微調整することができます。

**警告:** 切断長は、最大切断限度(下図を参照)を超過することができません。この最大切断限度以上にISPを切断すると、シートクランプを取り付けできなくなり、ISPの構造に不具合を引き起こす可能性があります。

フレームサイズ	最大切断限度
XS	105mm
S	105mm
M	100mm
M/L	100mm
L	100mm
XL	100mm



## ステップ2: 切断する前

サドルランプのシートポストボルトを緩め、サドルを外します。

## ステップ3: シートポストを切断する

**注記:** 切断の際には、専用のソーガイドの利用を推奨します。



**注意:** カーボンコンポジット繊維を損傷させないために、目の細かいノコギリ刃(32山)を使用して下さい。特にシートポストの切断作業の終盤では、カーボンコンポジット繊維が裂けないよう、特に慎重に作業を行ってください。



**警告:** 眼鏡、手袋、防塵マスクなど、適切な安全用具を着用して作業して下さい。また作業中は、塵を絶対に吸い込まないようにして下さい。

- ・ 清潔な台の上にフレームを置き、接地面には清潔で柔らかい布を当て、塗装を保護して下さい。
- ・ 切断箇所の正確な位置に、ソーガイドを取り付けて下さい。
- ・ 計測は2回以上して下さい。切断できるのは一回だけですので、必ず2回以上チェックをして下さい。



**注意:** ISPの切断後に、サドルの高さを、20mm以上高くするためには新しいフレームを用意するしか方法はありません。計測および切断作業の際は、正確に行ってください。

## ステップ4: 切断面の不要物を除去する

ソーガイドを取り外し、バリがあれば目の細かい紙ヤスリで慎重に落として下さい。濡らした布で残った塵を拭き取り、使用した布はすぐに廃棄して下さい。

## ステップ5: サドルを取り付ける

サドルランプをISPに取り付け、シートポストボルトを締め付けます。(最大締め付けトルク: 3Nm)



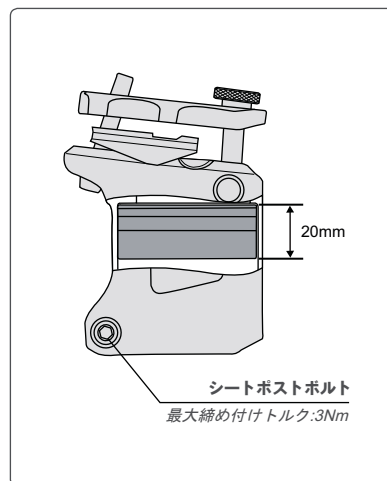
**注意:** ISP またはサドルランプの内側に、グリスを塗布しないで下さい。

### ・ サドルの高さを調整する

同梱のISPスペーサーを使用し、サドル高を微調整します。



**警告:** ISPスペーサーを入れずにサドルランプの位置を上げる、またはISPスペーサーを20mm以上挿入しないで下さい。ISPの損傷につながる恐れがあります。ISPの損傷は深刻なケガ、または死亡につながる恐れがあります。



以下の表に従い、適切なスペーサーの組み合わせを決定します。

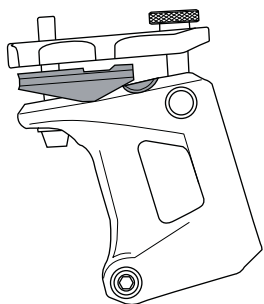
		スペーサー					
		1mm	1mm	3mm	5mm	10mm	10mm
サドル 高	1	1					
	2	1	1				
	3			3			
	4	1		3			
	5				5		
	6	1			5		
	7	1	1		5		
	8			3	5		
	9	1		3	5		
	10					10	
	11	1				10	
	12	1	1			10	
	13			3		10	
	14	1		3		10	
	15				5	10	
	16	1			5	10	
	17	1	1		5	10	
	18			3	5	10	
	19	1		3	5	10	
	20					10	10

## 9 サドルオフセットの調整

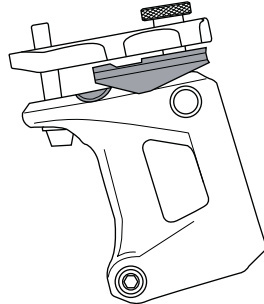
サドルクランプは前方または後方に取り付けることができます。これにより、サドル前後位置をプラス5mm~マイナス25mmの範囲で調整ができます。

**警告:** サドルクランプは図のように組み立てて下さい。クランプの位置が合っていないと、サドルに損傷を与えることがあります。それだけでなく、シートポストの損傷につながり、深刻なケガや死亡につながる恐れがあります。

オフセット: -25mm



オフセット: 5mm



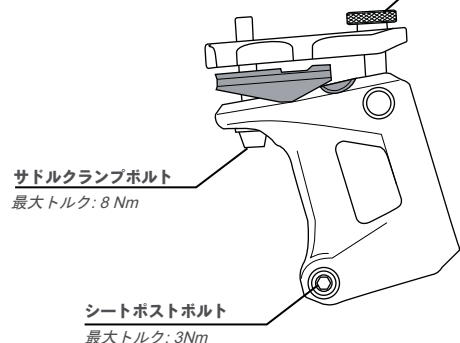
### • ISPシステムトルク値

**警告:** 緩すぎる、またはきつすぎるボルトの締め付けは不具合を引き起こす可能性があります。ボルトを締め付ける際には、最大トルク値を超過しないでください。過度に締め付けたボルトはコンポーネントまたはフレームに損傷を与え、深刻なケガや死亡につながる恐れがあります。

ISPサドルクランプボルト  
ISPシートポストボルト

締め付けトルク: 6~最大8Nm  
最大締め付けトルク: 3Nm

マイクロアジャストナット



## 10 ベクターシートポストとシートクランプ (非ISPモデル)

ベクターシートポストは軽量化と空気抵抗の低減を実現する、コンポジットテクノロジーにより製造されています。このベクターシートポストは、お客様に適したサドル高で快適なライディングをしていただくために、必要に応じて切断して長さを調整していただくことになります。



警告

- ・ シートポストの切断は、専門的な技術を持ったメカニックが行うべき作業です。
- ・ お客様自身によるシートポストの切断に際して不安がある場合、ジャイアント正規販売店にご相談下さい。
- ・ 当ガイドに従わない場合、弊社品質保証の対象外になるだけでなく、フレームやシートポストを損傷させ、重大なケガや死亡につながる恐れがあります。

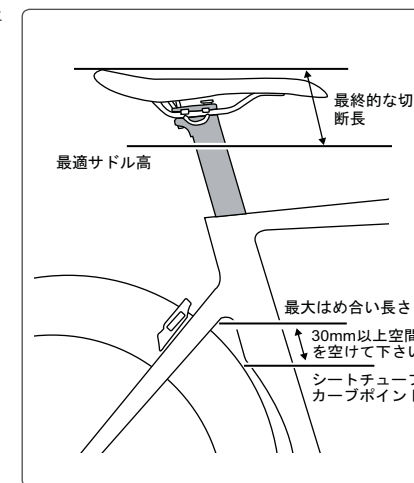


**注意:** ベクターシートポストをフレームに組み付ける前に、シートポストの滑り落ちによるシートチューブカーブポイントの破損、またはきしみ音の防止のため、カーボンアッセンブリーペーストを適量塗布してください。

### シートポスト切断手順

#### • 切断長の決定

1. ベクターシートポストに、サドルを地面と水平に取り付けて下さい。
2. シートポストを上下させ、最適なサドル高を決定して下さい。サドルが最適な高さまで下がらない場合、シートポスト先端が、シートチューブカーブポイントに接触しています。この場合、シートポストを切断する必要があります。
3. ポストの下部が背面から前面へ下方向に傾斜するように、シートポストは45度に切断して下さい。これにより、シートポストがフレームの下方向に過度に押されたとしても、フレームへの損傷をある程度軽減させます。詳しくはP12-13「シートポストの切断」をご参照ください。



**注記:** 購入時における、フレームサイズに対する元々のシートポストの長さは、以下の図をご参照下さい。

フレームサイズ	最低サドル高(mm)
XXS	670
XS	670
S	690
M	700
M/L	700

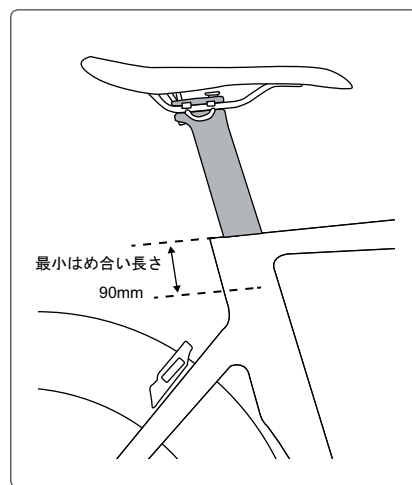
お客様の理想的なサドル高が、上図の最低サドル高の数値より低い場合、最適なサドル高で快適なライディングをしていただくために、必要に応じてシートポストを切断して長さを調整していただくことになります。

**注記:** シートポストの最大挿入長は、シートチューブカーブポイントより30mm上部となります。乗車時にシートポスト先端がシートチューブカーブポイントに接触しないように、ベクターシートポストを適切な長さに切断して下さい。



**警告:**

- シートポストはゆっくりと、注意しながらシートチューブに挿入してください。強く押しこむと、フレームやシートポストを破損させる恐れがあります。
- ベクターシートポストの最小はめ合い長さは90mmです。シートポストの過度な切断はしないで下さい。シートポストの切断の前に、適切な長さを再度確認して下さい。
- 乗車時にシートポスト先端が、シートチューブカーブポイントに接触していると、フレームに損傷を与える原因となります。



## シートポストの切断

- シートポストの切断には専用の工具（ソーガイドおよびハンドソー）の使用をお勧めします。
- ソーガイドを切断位置に、正確に固定して下さい。切断前に再度切断長を確認して下さい。

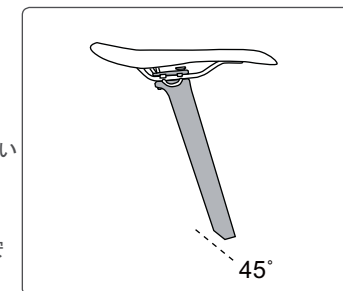
- ポストの下部が背面から前面へ下方向に傾斜するように、シートポストは45度に切断します。これにより、シートポストが過度に下方向に押されたとしても、フレームへの損傷をある程度軽減させます。



**注意:** カーボンコンポジット繊維を損傷させないために、目の細かいノコギリ刃(32山)を使用してください。



**警告:** 眼鏡、手袋、防塵マスクなど、適切な安全用具を着用して作業して下さい。また作業中は、塵を絶対に吸い込まないようにして下さい。



- 慎重にシートポストを切断して下さい。



**注意:** シートポストの切断作業終盤では、カーボンコンポジット繊維が裂けない様、特に慎重に作業を行ってください。

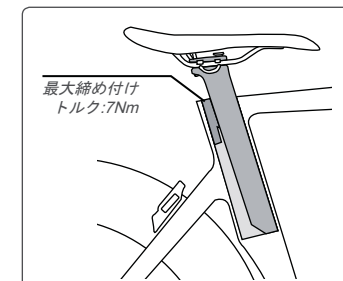
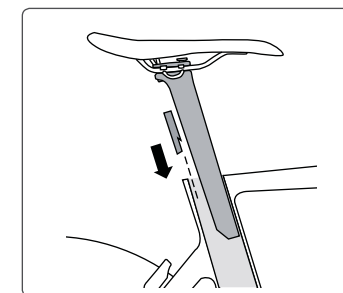
- ソーガイドを取り外し、バリがあれば目の細かい紙ヤスリで慎重に落として下さい。濡らした布で塵を拭き取り、使用した布はすぐに廃棄して下さい。
- サドルをシートポストに取り付け、設定したサドルの高さになっていることを確認して下さい。

## ベクターシートポストクランプ

ベクターシートポストクランプは、ベクターシートポストをフレームに確実に固定できるように、最適に設計されています。

### 取り付け

- 取り付けの前に、シートポストの長さが正しいことを確認します。
- ベクターシートポストを、シートチューブに軽く挿入します。
- ベクターシートポストの後ろ側にシートクランプを取り付け、シートチューブに挿入します。(図を参照)
- 適切な高さにサドルを調整し、クランプボルトを締め付けます。(最大締め付けトルク：7Nm)





## 11 POWERCORE プレスフィットボトムブラケット

**注意:** フレームセットの持つ性能と快適性を引き出すために、組み付けは適切に行ってください。プレスフィットBBアダプターの取り付けは技術と経験を要する複雑な作業ですので、実際の作業はジャイアント正規販売店にて依頼して下さい。

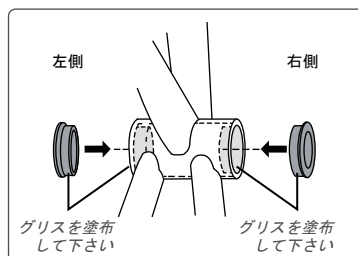
プレスフィットBBアダプターには様々なタイプがあります。常に適切なBBアダプターを選択してください。不適切なBBアダプターを選んだ場合、フレーム破損につながる恐れがあり、深刻なケガや死亡につながる可能性があります。

**警告:** 不適切なBBアダプターを取り付けると故障を引き起こし、深刻なケガや死亡につながる可能性があります。

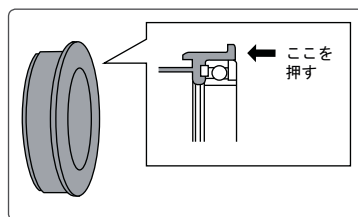
### 取り付け

#### ステップ 1:

1. フレームのボトムブラケットのカップ内部にグリスを塗布します。
2. 次に、左側と右側のプレスフィットBBアダプターを取り付けます。
3. アダプターを専用工具で圧入し、角度が付かないように両側に均等に圧力をかけます。



**注意:** 圧入の際は、図の矢印で示されている部分だけを押しして下さい。それ以外の場所を押すと、ペアーリングのボールレースに損傷を与える可能性があります。

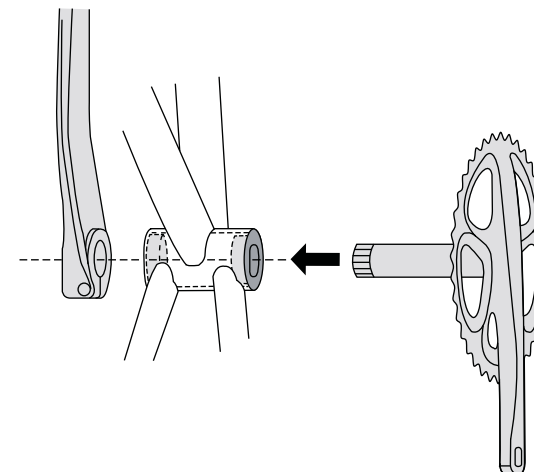


#### ステップ 2:

フロントチェーンホイール/クランクの取り付け:

**注記:** 取り付けの際は、チェーンホイール/クランクのメーカーが提供する、取扱い説明書に従って下さい。

**注記:** このマニュアルは、ボトムブラケットをジャイアントコンポジットフレームセットに取り付けるための情報を提供するものです。最終的なクランクセットの取り付けに関する詳細は、同梱されているメーカーの説明書を参照して下さい。



### 取り外し

先端の尖っていない工具を使用して、中からしっかり押し出します。

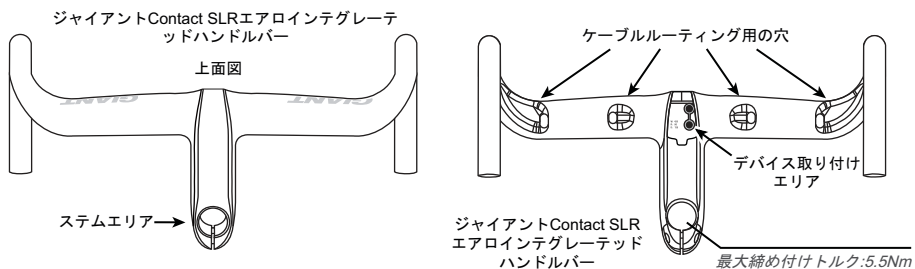
**注記:** BBアダプターは取り外しの際に損傷する可能性がありますので、再利用しないで下さい。

**注意:** BBアダプターを取り外すときは、フレーム/BBシェルに傷を付けないように、慎重に作業して下さい。

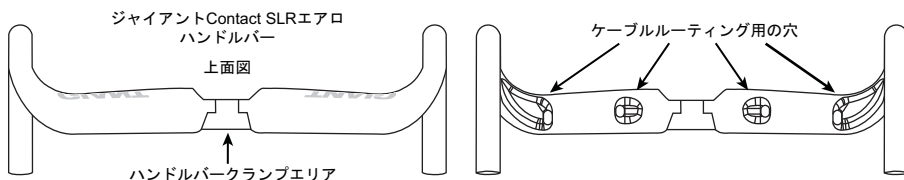
## 12 CONTACT SLR エアロハンドルバーの手引き

PropelおよびEnvieシリーズのバイクはエアロダイナミクスに優れた、Contact SLRエアロインテグレートッドハンドルバーおよびContact SLRエアロハンドルバーを採用しています。

Contact SLRエアロインテグレートッドハンドルバーはワンピースデザインを採用し、軽量性、優れたエアロダイナミクス性、高いメンテナンス性を実現しています。



Contact SLRエアロハンドルバーは優れたエアロダイナミクスを発揮するよう設計され、Giant Contact SLRステムとの互換性があります。



### • 取り付け

1. ステアリングコラムが適切な長さに切断されていることを確認します。同時にステアリングコラムに、ステムの固定に十分なクランプ領域があることを確認します。
2. プレッシャープラグが、ステアリングコラム内側の正しい位置に取り付けられていることを確認します。ご不明な場合は、オーナーズ・マニュアルを参照して下さい。
3. エアロボトムスペーサーをステアリングコラムに取り付けます。必要に応じてエアロステップスペーサーを追加し、ハンドルバーの高さを調整します。
4. ステムのステアリングコラムクランプ部のボルトを緩め、ステムをステアリングコラムの下方にスライドさせます。ステムが可能な限りステアリングコラムの下方に位置し、エアロステップスペーサーの上に位置するよう、ゆっくりと下方に押しします。
5. ステムボディの上部とステアリングコラムの上部の間に、2-4mmのスペースがあることを確認します。

6. コンプレッションナットにトップキャップとステムボディ上面のコンプレッションボルトを取り付けます。トップキャップがステムの凹部分に位置し、ステムの上部に重なることを確認します。
7. ヘッドセットメーカーの指示に従い、ヘッドセットの玉押し調整をします。
8. ハンドルバーとフロントホイールの位置を合わせ、軽く固定します。
9. 表示されたトルク値の範囲内か最大値まで、ステアリングコラムクランプボルトを締め付けます。
10. 推奨トルク値の範囲か最大値まで、2つのクランプボルトを交互に締め付けます。

**注意:** ステアリングコラムのクランプボルトが推奨トルク値を超えて締め付けられた場合、ステアリングコラムが破損する可能性があります。カーボンファイバー製のステアリングコラムにはグリスを塗布しないでください。また合金、鉄製のステアリングコラムにも、グリスを塗布しないで下さい。

**注記:** トップキャップとコンプレッションボルトは、自転車の使用時に、常に正しい位置にあることを確認して下さい。

**警告:** ハンドルバーのクランプを締めすぎると、保証が無効となり、自転車のコントロールを失い、深刻なケガや死亡につながる恐れがあります。

### 11. Contact SLRエアロハンドルバーの場合

- ・ ハンドルバーをステムクランプの開口部に置き、ハンドルバー上にフェイスプレートを取り付け、フェイスプレートのボルトを締めます。
- ・ ハンドルバーを中心に置き、ステムクランプの好みの位置に取り付けます。ハンドルバーが固定されるように、十分にボルトを締めます。
- ・ ハンドルバーに表示された推奨トルク値まで、フェイスプレートのボルトを締めます。

12. ブレーキ・シフトレバーの取り付け領域に、ゴミやグリスが付着していないことを確認します。
13. ブレーキ・シフトレバーを定位置にスライドさせ、ハンドルバーに取り付けます。ブレーキケーブルとディレイラーのケーブル取り回しに関しては、図「コンタクトSLRエアロハンドルバーインナーケーブルルーティングマップ」を参照して下さい。

**注記:** シフト/ブレーキレバーのハンドルバー取り付け 推奨締め付けトルク: 4-5Nm

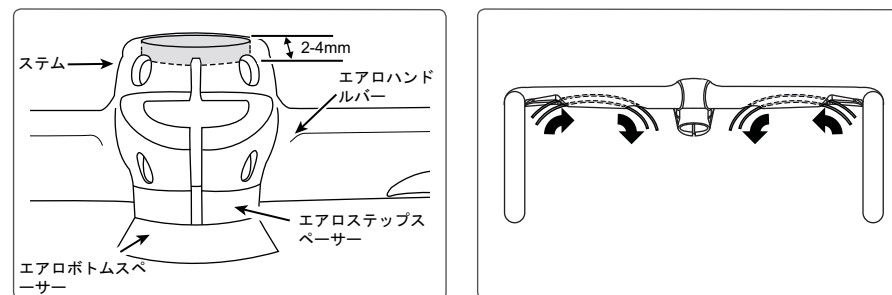


図. Contact SLR エアロインテグレートッドハンドルバー 後方図

## 13 ディレクターケーブル取り回しの手引き

**注意:** 以下の項目は、電動変速システムの導入の際に、その製品マニュアルと合わせてご活用下さい。

- Contact SLRエアロインテグレートッドバーのインナールートより、フロントおよびリアディレクターのケーブルを通します。(取り付けセクションの「Contact SLRエアロインテグレートッドバー」を参照)
- トップチューブの前方のケーブル穴にケーブルを通し(次の図のトップチューブケーブル穴1、2を参照)、ダウンチューブを通してボトムブラケットから出します。

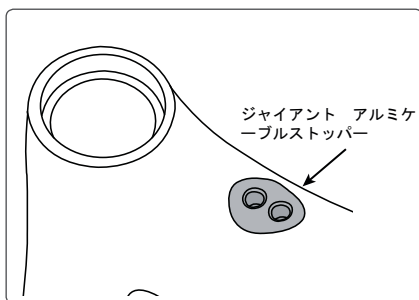


図: トップチューブケーブル穴 1

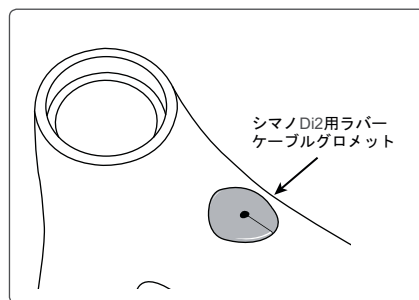


図: トップチューブケーブル穴 2

- ディレクターケーブルを、ボトムブラケットのそれぞれのケーブル穴に通します。(図のBBケーブル穴を参照)

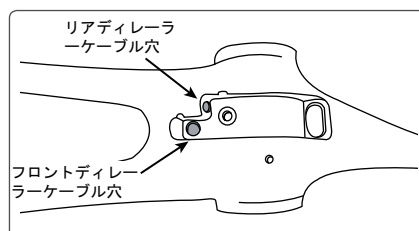


図. BBケーブル穴

- フロントディレクターケーブルを、図のディレクターケーブル穴に通します。

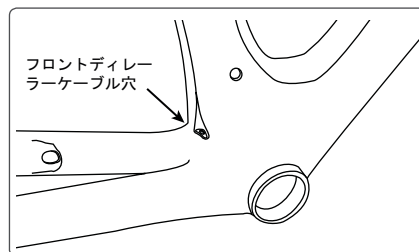


図. フロントディレクターケーブル穴

- リアディレクターケーブルを右チェーンステイ内部に通して渡し、図のリアディレクターケーブル穴から出します。

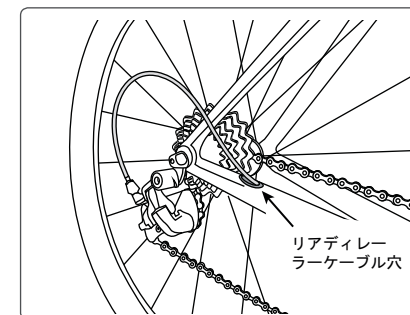


図. リアディレクターケーブル穴

## 14 リアブレーキケーブルの取り回し

- Contact SLRエアロインテグレートッドバーのインナールートより、リアブレーキケーブルを通します。(取り付けセクションの「Contact SLRエアロインテグレートッドバー」を参照)
- 図のトップチューブ左側リアブレーキケーブル穴より、リアブレーキケーブルを通します。

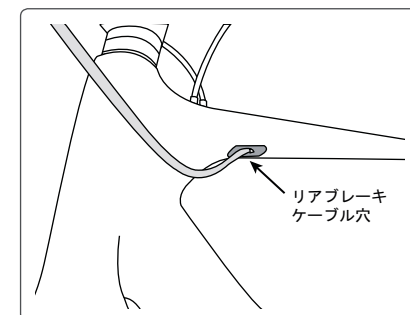


図. リアブレーキケーブル穴 (前側)

- 図のトップチューブの後ろ側より、リアブレーキケーブルを出します。

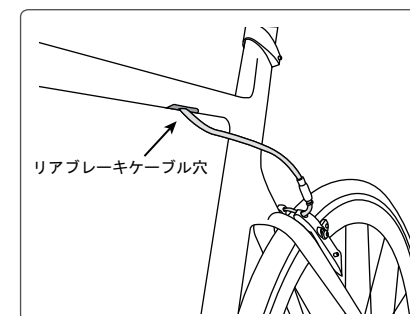
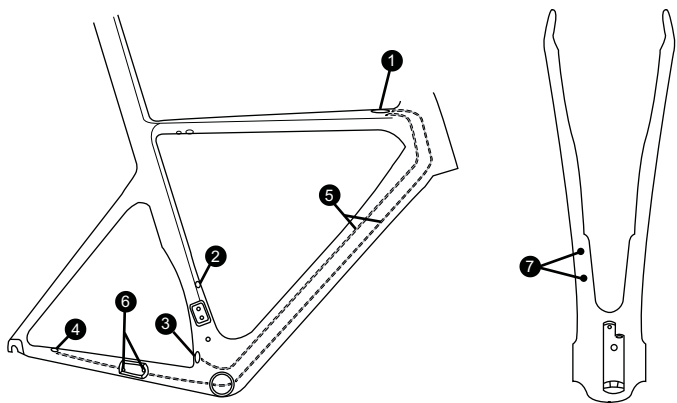


図. リアブレーキケーブル穴 (後側)

## 15 ケーブルルーティング用パーツ



	パーツ名称	電動変速システム用パーツ番号	ケーブル式変速システム用パーツ番号	
1	トップチューブケーブルグロメット	1472-CC516B-301	1472-CM297A-401	516B 297A
2	ケーブルクリップ/ ボトルマウント	147-9109-7	X	
3	フロントディレクターケーブルグロメット	1472-GROMET-03	X	
4	チェーンステイケーブルグロメット	1472-CC515B-301	リヤディレクター アウター ノーズキャップ	
5	内蔵式ディレクターケーブルケーシング	X	1630-CM280B-401	
6	RideSense取り付け穴プラグ	134-SENSOR-202	134-SENSOR-202	
7	バッテリーケース取り付け穴プラグ	X	134-FRAMER-203	

## 16 フレーム テクニカル データ

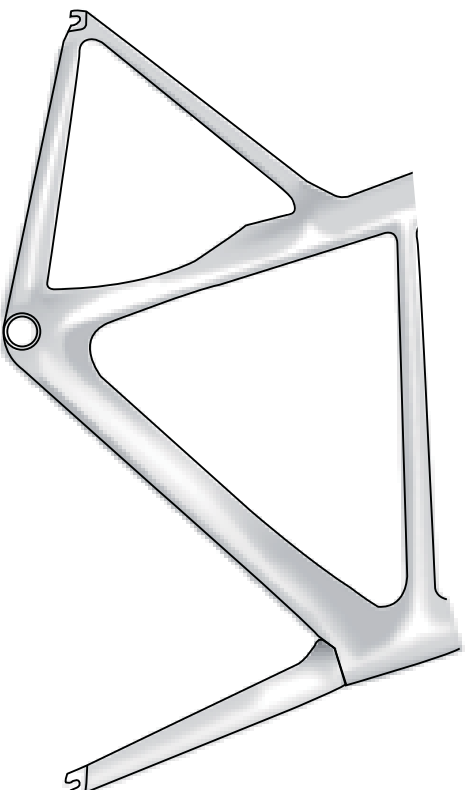
### 16.1 Propel Advanced SL



シリーズ	Propel Advanced SL					
ヘッドパーツ径	φ42/φ47					
シートポスト径	フレーム一体型					
フロントディレクター取付径	フレーム直付					
リアOLD	130					
リアセンター	405					
最大タイヤサイズ	700x23C					
フレームサイズ	XS	S	M	ML	L	XL
ヘッドチューブ長 (mm)	120	135	150	170	185	200
トップチューブ水平長 (mm)	515	535	555	570	585	605
シートアングル (Degree: °)	74.5	73.5	73	72.5	72.5	72
ヘッドアングル (Degree: °)	71	72	73	73	73	73

# 16 テクニカルデータ

## 16.2 Envie Advanced



シリーズ	Envie Advanced					
ヘッドパーツ径	φ42/φ47					
シートポスト径	Vector Seatpost					
フロントディレイラー取付径	フレーム直付					
リアOLD	130					
リアセンサー	405					
最大タイヤサイズ	700x23C					
フレームサイズ	XXS	XS	S	M	L	
ヘッドチューブ長 (mm)	110	130	145	160	180	
トップチューブ水平長 (mm)	500	515	532	550	565	
シートアングル (Degree: °)	75	74.5	73.5	73	72.5	
ヘッドアングル (Degree: °)	70.5	71	72	73	73	